— —	楚情報	等專門学校	開講年度 令和03年度 (2	<u>-</u> -]	受業科目	アナログ信号処理			
科目番号	<u>~- IП+К</u>	0081		科目区分					
<u>170日7</u> 授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:				
皮素形態 開設学科		電気情報		対象学年	3	1			
開設子科 開設期		前期	上于作	」 週時間数	2				
	7++]	週时间数	2				
教科書/教	(1/1)		R他「新応用数学」(大日本図書) -						
担当教員		芦澤 恵太							
到達目標									
2 ラプラ 3 伝達 4 フー!	ラス変換を 関数を用い リエ級数展	その逆変換が 微分方程式に たシステムの 開およびフー	計算できる。 応用できる。 入出力表現ができる。 リエ変換とその逆変換が計算できる。						
ルーブリ	ノツク			##\#\\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		+ 70 ± 1			
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目:	1		ラプラス変換とその逆変換が計算 できる。	ラプラス変換とその道		ラプラス変換とその逆変換が計算 できない。			
				はわかっているが計算できない。 ラプラス変換にて微分方程式を表		Cさない。 ラプラス変換を微分方程式に応用			
評価項目2			フノフス変換を似分方柱式に心用 できる。	フノフス変換に C 做欠 すことができる。	川性以で衣	フノフス変換を佩力力性式に応りてきない。			
= ਹਾਂ / ਕਾਣ ਾ ੨	n		伝達関数を用いたシステムの入出	伝達関数を用いたシステムの入出		Cc ない。 伝達関数を用いたシステムの入			
評価項目3	3		力表現ができる。	力関係がわかる。		力表現ができない。			
評価項目4			フーリエ級数展開およびフーリエ 変換とその逆変換が計算できる。	フーリエ級数展開およ 変換とその逆変換の定 ているが計算できない	義はわかっ	フーリエ級数展開およびフーリエ 変換とその逆変換が計算できない 。			
学科の発	到達目標」	項目との関	係						
学習・教育	育到達度目	標 (B)							
教育方法	 去等								
3/13/J	\ \ J	コンピュ		信号等の信号処理技術は	 5重要である	本授業では、信号の最も基本的な			
概要		処理手法	ュータ技術には,計測・制御信号,音声信号等の信号処理技術も重要である。本授業では,信号の最も基本 法であるフーリエ級数展開,フーリエ変換,ラプラス変換および連続系システムの解析手法について学習で						
		」また,フ 【授業方	プラス変換を用いた微分方程式の解法	にしいても子習りる。					
受業の進む	め方・方法	・演習プ	板書を中心に進める。演習プリントを リントの講義時間内にできなかった問 法】	週目取り入れる。 題は,次週までの課題。	≤する。				
			分内容は必ずノートに取ること。 出された日に手を付けること。問題数 	をこなすことを意識する	3こと。				
主意点		【成績の 到達 【備考】 科目専用 【教員の 内線電話	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成 のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317)	績(70%),課題(30	%) を総合評				
	属性・履信	【成績の 到達 【備考】 科目専用 【教員の 内線電話	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成 のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac	績(70%),課題(30	%) を総合評				
授業の属	<u> </u>	【成績の標 到達 【備考】 科目専用 【教室 内線電話 e-mail: a	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成 のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac	績(70%),課題(30	%) を総合評				
授業の属		【成績の標 到達 【備考】 科目専用 【教室 内線電話 e-mail: a	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成 のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac	績(70%),課題(30 jp (アットマークは@	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ティブラーニ	【成績の標 到達 【備考】 科目専用 【教室 内線電話 e-mail: a	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成 のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac	績(70%),課題(30 jp (アットマークは@	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ティブラーニ	【成績の 到達目標 【備考】 科目専用 【教真室 内線電話 e-mail: i	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成 のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac	績(70%), 課題(30 ∴jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応	%) を総合評	.)			
受業の原 〕 アクラ	ティブラーニ	【成績の 到達 【備考】 科目 【教真室 内穴線電話。 e-mail: る 修上の区分	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac	績(70%), 課題(30 .jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応 週ご	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ティブラーニ	【成績の 到達標 【備考】 科目の 研究線電話。 内内の区分 上ング	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac	績 (70%) , 課題 (30 .jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応 週ご	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ティブラーニ	【成績の標 到達編書】 「科目教室電話」 「各上の区分 中一本語」 「多上の区分 コング	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明,信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例	績 (70%) , 課題 (30 ∴jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ティブラーニ	【成績の標 到達編書】 (所書) (解書) (科目等) (科目等) (科目等) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明,信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表	績(70%),課題(30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 □ 1	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ゴ	【成績の標 到護編書】 (所書) (科書) (科書) (科書) (科書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階 (A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明,信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換	績(70%),課題(30 ∴jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応 □ 1 1 1	%) を総合評	.)			
受業の原 〕 アクラ	ティブラーニ	【成績の標 到達編書】 (所書) (解書) (科目等) (科目等) (科目等) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明,信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ゴ	【成績の標 到護編書】 (所書) (科書) (科書) (科書) (科書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本書) (本	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階 (A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明,信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換	績(70%),課題(30 ∴jp (アットマークは@ □ 遠隔授業対応 □ 1 1 1	%) を総合評	.)			
受業の原 〕 アクラ	ゴ	【成議目 の (成達	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として,定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階 (A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明,信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1	%) を総合評	.)			
授業の属 」 アクラ	ゴ	【成議目 の (成達	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として、定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法	績 (70%) , 課題 (30 ∴jp (アットマークは@ 」 遠隔授業対応 1 1 1 1 3 2	%) を総合評	.)			
受業の原 アクラ	ゴ	【成績目 (成達 書) (別達 書) (科) (科) (科) (教究線画) (多) (多) (多) (多) (多) (多) (多) (多) (多) (多	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として、定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 □ 1 □ 1 □ 2 □ 2	%) を総合評	.)			
受業の原 アクラ	ゴ	【成議目 名	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として、定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2nの関数のフー	績 (70%) , 課題 (30g) (アットマークは@ 」 遠隔授業対応	%) を総合評	.)			
受業の原 アクラ	ゴ	【成議目の (成達目 人 (科書) (科書) (科書) (科学) (科学) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として、定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2nの関数のフーー般の周期関数のフーリエ級数	績 (70%) , 課題 (30g) □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1	%) を総合評	.)			
受業の原 アクラ	ゴ	【成達 7 7 7 7 7 7 7 7 7	評価方法・評価基準】 の達成度を基準として、定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317) 8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2πの関数のフーー般の周期関数のフーリエ級数 複素フーリエ級数	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 □ 1 □ 1 □ 3 □ 2 □ 2 □ 1 □ 4 □ 4	%) を総合評	.)			
授業の原 □ アクラ 授業計画	ライブラー <u>:</u> 1stQ	【科 報報 「科 報報 「科 中 一 の 下 の 下 の 下 の で 一 の の 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 9 1 9 1 9	評価方法・評価基準】の達成度を基準として、定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317)8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2nの関数のフー 一般の周期関数のフーリエ級数 複素フーリエ級数	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 1 1 1 3 2 2 -リエ級数 3 4 4 4	%) を総合評	.)			
授業の原 □ アクラ 授業計画	ゴ	【対 類 (成達 書) 用 の (所内) 中 (本) 中	評価方法・評価基準】の達成度を基準として、定期試験の成の達成度を基準として、定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317)8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2nの関数のフーー般の周期関数のフーリエ級数 複素フーリエ級数 演習 フーリエ変換と積分定理	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 1 1 1 3 2 2 -リエ級数 3 4 4 4 4	%) を総合評	.)			
授業の原 □ アクラ 授業計画	ライブラー <u>:</u> 1stQ	【科 報報 「科 報報 「科 中 一 の 下 の 下 の 下 の で 一 の の 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 週 1 9 1 9 1 9	評価方法・評価基準】の達成度を基準として、定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317)8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2nの関数のフー 一般の周期関数のフーリエ級数 複素フーリエ級数	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 1 1 1 1 2 2 2 -リエ級数 3 4 4 4 4 4	%) を総合評	.)			
	ライブラー <u>:</u> 1stQ	【対 類 (成達 書) 用 の (所内) 中 (本) 中	評価方法・評価基準】の達成度を基準として、定期試験の成の達成度を基準として、定期試験の成のノートを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317)8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac □ ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2nの関数のフーー般の周期関数のフーリエ級数 複素フーリエ級数 演習 フーリエ変換と積分定理	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 1 1 1 3 2 2 -リエ級数 3 4 4 4 4	%) を総合評	.)			
授業の原 □ アクラ 授業計画	ライブラー <u>:</u> 1stQ	【対域 (根本) (根本) (根本) (根本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (評価方法・評価基準】の達成度を基準として、定期試験の成の上へを必ず用意すること。 連絡先】 A棟3階(A-317)8966 ashizawaアットマークmaizuru-ct.acd 「ICT 利用 授業内容 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 ラプラス変換の定義と例 基本的性質と変換表 逆ラプラス変換 線形システムの伝達関数 初期値問題の解法 連立微分方程式の解法 中間試験 試験問題の解説、周期2nの関数のフー般の周期関数のフーリエ級数 複素フーリエ級数 演習 フーリエ変換と積分定理 フーリエ変換の性質と公式	績 (70%) , 課題 (30 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 1 1 1 1 1 2 2 2 -リエ級数 3 4 4 4 4 4	%) を総合評	.)			

分類		 分野	学習内容	学習内容の到達目標				達レベル	授業週				
評価割合													
	試験	ş		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計					
総合評価割合	70	C)	0	0	30	0	100					
基礎的能力	0	C)	0	0	0	0	0					
専門的能力	70	C)	0	0	30	0	100					
分野横断的能力	0	C)	0	0	0	0	0					